

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	八戸市立大久喜小学校
授業者	大沢 泰尚

### 1. 単元計画

#### 1-1. 単元名

ぼくたち・わたしたち、海洋ごみ調査隊

#### 1-2. 学年

3・4・5年生

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間 社会

#### 1-4. 単元の概要

- 1 地域の海岸のごみの状況を知る活動【3・4・5年生】
  - ・海岸清掃活動で集めたごみを観察・分類し、調べていきたいことについて見通しをもつ。
- 2 海洋ごみについて調べる活動【3・4・5年生】
  - ・海洋ごみについて図書資料やインターネットを用いて調べる。
- 3 地域環境探検活動【3・4・5年生】
  - ・八戸市環境政策課の協力のもと、大久喜海岸の地形や地質、海洋ごみの状況などについて探検・調査を行い、大久喜海岸を環境面から捉える。
- 4 海洋ごみの観察・調査活動【3・4・5年生】
  - ・海岸清掃活動で集めたごみを、これまで学習してきたことを観点として観察・調査する。
- 5 まとめ・発信する活動【3・4・5年生】
  - ・海洋ごみの現状やこれから海を守るために自分たちにできることをまとめ、発信する。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校は太平洋を眼下に望む場所に位置し、海に関連する多くの教育活動を取り入れている。そういった活動を通してふるさとの海の恵みに触れ、ふるさとの海に愛着をもっている。しかし、年2回実施している海岸清掃では、ごみがたくさん打ち上げられた砂浜を目の当たりにしているのも事実である。そこで、ごみが海に与える影響について追究し、自分たちにできることを明らかにしながら、豊かな恵みをもたらしてくれる海を守っていかうとする態度を養っていきたい。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・海とごみの関係について興味をもつ。
- ・海洋ごみが海に与える影響や海洋ごみ問題を解決するための取組について調べる。
- ・海洋ごみの実情や海を守るために自分たちができることについて発信する力を養う。
- ・ふるさとの海への愛着を高め、海を大切にす態度を育む。

1-7. 単元の展開（全25時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
3	○法師浜海岸の清掃活動で回収したごみを分類・調査し、これから調べていきたいことについて考える。	○海岸にはどんなごみが落ちているのか分類・調査させ、プラスチックごみが多いことや外国から流れ着いているごみもあることに気付かせる。 【評価】海洋ごみ問題について興味をもち、これから調べたいことについて課題をもつことができる。 【連携】大久喜小学校PTA環境厚生委員会
6	○海洋ごみについて様々な視点から調べる。	○個々に課題をもたせ、図書資料やインターネットを活用して、海洋ごみ問題の現状や環境に及ぼす影響、対策などについて調べさせる。 【評価】必要な情報を選びながら調べ、課題を解決することができる。
4	○ガイドの説明を聞きながら大久喜海岸を観察・調査する。  ・地形・地質的な特色 ・マイクロプラスチック ・他地域からのごみの漂着 ・海洋ごみの生態系への影響	○大久喜海岸の特色と大久喜海岸のごみの様子を捉えさせる。 ○マイクロプラスチックや海流に乗って漂着したごみなどについての話を聞かせる。 【評価】調査を通して、大久喜海岸の特色と海洋ごみの現状を知ることができる。 【連携】 ・八戸市環境政策課 ・講師：三陸ジオパークガイド
3	○これまで調べたり学習したりしてきたことをもとに、大久喜海岸の清掃活動で回収したごみを分類・調査する。	○清掃活動では拾うことのできない細かなマイクロプラスチックが無数にあることに気付かせる。 【評価】大久喜海岸にもたくさんのマイクロプラスチックがあり、決してよい環境にあるとは言えないことに気付くことができる。
9	○これまで海洋ごみについて調べたり、海岸を調査したりしたことをまとめ、外部に発信する。	○コンピュータを使ってスライド形式でまとめさせる。 ○島守小学校の3・4年生とオンラインで交流し、まとめの発表をさせる。 【評価】これまで学習したことを分かりやすくまとめ表現・発表することができる。 【連携】八戸市立島守小学校

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

ガイドの説明を聞きながら大久喜海岸を調査する野外活動を通して、大久喜海岸を地形や地質、植物などの面から捉え、その特徴を知るとともに、ごみの観点からも大久喜海岸の実情を捉え、地元の海に対する愛着と海を守り大切にすることを育てる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1 お世話になる三陸ジオパークガイドの方々と八戸市環境政策課のみなさんとあいさつをする。	・協力いただきみなさんを紹介する。
2 観察・調査で用いる用具とその使い方について説明を聞く。（ルーペ、スケールなど）	
3 三陸ジオパークガイドの説明を聞きながら大久喜海岸を観察・調査し、その特徴やごみについての実情を捉えることができる。 ○浜辺に生息する植物 ○海岸の地形の特徴 ○海岸の石や砂の特徴 ○海流と漂着したごみの関係 ○マイクロプラスチックごみと環境問題 など	・聞きたいことがあったら、その都度質問させるようにする。 <b>【評価1】</b> 地形や地質、生息する植物などについて観察・調査する活動を通して、大久喜海岸ならではの特徴を捉えることができる。（観察・ワークシート） <b>【評価2】</b> 大久喜海岸のごみの実情を捉え、海を守り、大切にしていきたいという思いをもつことができる。 （観察・ワークシート・感想発表）
4 本時の活動振り返り、感想を発表する。	・観察・調査が終わったら教室に戻り、分かったことをまとめる。

### 3. 今回の活動の自己評価

本校は、地元の海に関連した教育活動を数多く展開し、児童は海のすばらしさを感じながら学習したり、学校生活を送ったりしている。また、海岸清掃も行い、身近な海をきれいに保つよう活動している。今回の学習では、海が汚れる原因の一つである海洋ごみ問題に目を向けさせることで、自分たちの身近な海にもその問題があること、そして、世界の多くの海でも同じ問題を抱えていることに気付かせることができた。

また、本単元の中核となる野外での観察・調査においては、専門家の指導のもと、大久喜海岸を自然環境の側面からその特徴を捉えさせ、その自然環境をごみが脅かしているという観点で学習を展開することができたことは大きな成果であった。このことにより、児童に地元の海への愛着を育むとともに、海を大切にしていこうとする態度を養うことができたと考える。

### 4. 今後の課題

今回の学習を通して、地元の海の環境は周りの広い範囲の環境と大きく関わっていることに気付かせることができた。今後は、海と山（森）とのかかわりについて視点をもたせながら学習を展開し、豊かな海は豊かな山（森）と共にあるということについて学習を広げていきたいと考える。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特記事項なし

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。